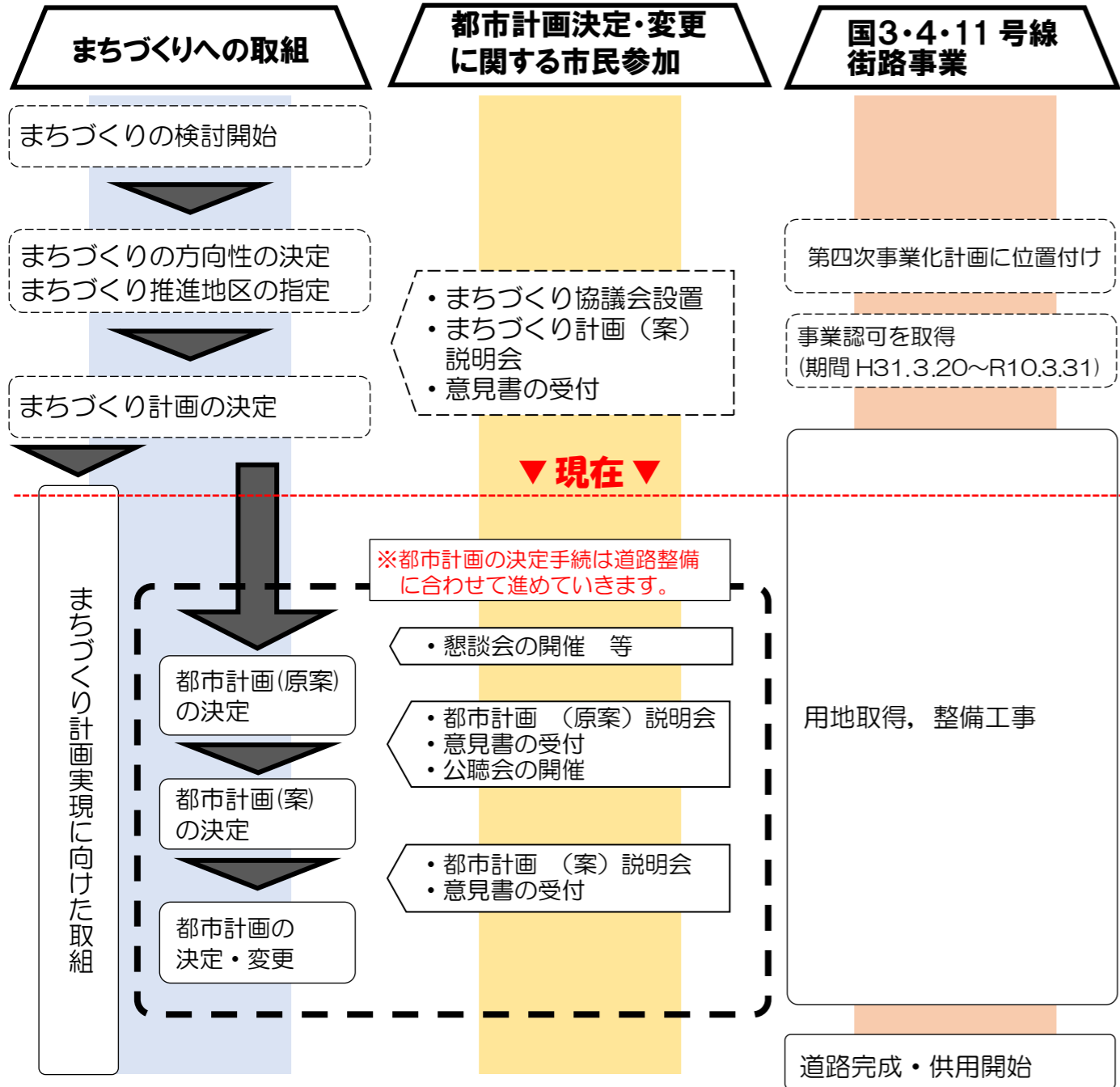


まちづくり検討のスケジュール

今後、国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくりは、道路整備の進捗に合わせてまちづくり計画で示す具体的な取組を進めてまいります。(下図参照)



※本スケジュールは、現段階のものであり、今後変更になる可能性があります。

まちづくり計画はこちらでご覧いただけます

- ・国分寺市役所（まちづくり推進課，オープナー） ・国分寺駅北口事務所
- ・もとまち公民館 ・もとまち地域センター ・本多図書館駅前分館

※休館日・閉庁日にご注意ください。



○国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくりに関する情報は、市のホームページにも掲載しています。市ホームページ、サイト内検索で「国3・4・11」と入力して検索してください。○また、右記のQRコードからも国分寺市のサイトにアクセスできます。



国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり

第16号

まちづくりニュース

■令和4年11月
 ■発行：国分寺市 まちづくり部 まちづくり推進課
 電話番号：042-314-9006 FAX番号：042-323-9060
 E-mail：machisuishin@city.kokubunji.tokyo.jp
 ※まちづくりニュースは、地域の皆さんへ「まちづくり」の進捗をお知らせする広報紙です。

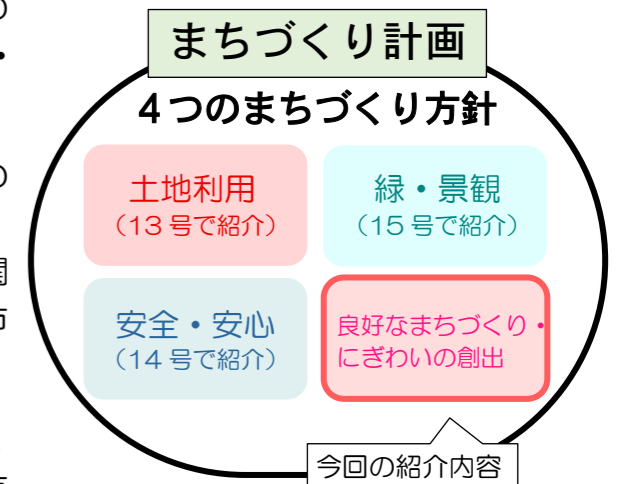
まちづくり方針（良好なまちづくり・にぎわいの創出）紹介

国分寺街道及び国3・4・11号線周辺地区では、平成29年6月から約2年間の市民参加によるまちづくりの検討を経て、令和2年2月に「国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり計画」を決定しました。

まちづくり計画では、まちの将来像を実現するための4つの分野のまちづくり方針を定めています。

これまで、「土地利用」「安全・安心」「緑・景観」に関するまちづくり方針と実現のための手法例として都市計画等の制度等を紹介しました。

今回は「良好なまちづくり・にぎわいの創出」(※以下、「にぎわいの創出」といいます。)に関するまちづくり方針をご紹介します。



まちづくり方針（にぎわいの創出）取組（抜粋）

目標	取組
観光客が国分寺街道に寄りたくなる魅力をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者へのおもてなし拠点の設置 ・散策コースの検討 ・シェアサイクルの検討
国分寺街道の魅力を知ってもらうための情報発信をする	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の促進
史跡や湧水など市の魅力資源をまちづくりに活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・緑・水辺・歴史的資源を有効活用 ・国3・4・11号線と国分寺街道の連絡強化
買い物を楽しむことができる商店街づくりを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・こくベジプロジェクトとの連携 ・周辺地域の大学と連携した取組への支援 ・空き店舗の利活用
良好な地域コミュニティの形成を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や資源と関連したイベントの開催 ・エリアマネジメントの検討 ・コミュニティビジネスの支援

詳細は裏面をご覧ください

まちづくり方針（にぎわいの創出）の紹介

まちづくり計画では、「土地利用」「緑・景観」「安全・安心」「良好なまちづくり・にぎわいの創出」のテーマごとに分けて、4つのまちづくり方針を示しています。その中から「まちづくり方針」（良好なまちづくり・にぎわいの創出）の内容を紹介します。

まちづくり方針（良好なまちづくり・にぎわいの創出）

主に観光客や来訪者が集まることによって創出されるにぎわい

目標 観光客が国分寺街道に寄りたくなる魅力をつくります。

取組に-① (活用資源：C.不動橋・一里塚)
《来訪者へのおもてなし拠点の設置》
○不動橋付近をエリアの拠点に位置づけ、観光のおもてなし拠点をつくります。

取組に-② (活用資源：A.農地・こくベジ B.史跡武蔵国分寺跡 D.野川・元町用水 I.周辺の施設)
《散策コースの検討》
○史跡等、周辺地域の観光資源や個性的な店舗等と国分寺街道を回遊する散策コースを複数用意し、観光客が目的や好みにより選択でき、何度も楽しめるようにします。

取組に-③ (活用資源：A.農地・こくベジ B.史跡武蔵国分寺跡 D.野川・元町用水 I.周辺の施設)
《シェアサイクルの検討》
○周辺地域の観光資源を周遊する、ワンウェイ（各拠点に乗り捨て可能）なシェアサイクルの基地の設置について検討します。観光や買い物の利便性を高めるための拠点などについて研究をすすめます。

目標 国分寺街道の魅力を知ってもらうための情報発信をします。

取組に-④ (活用資源：F.商店会や町会 G.周辺大学の学生の活力)
《情報発信の促進》
○地域の担い手（商店街や周辺地域の大学生）により、多様な媒体でわかりやすい情報発信を行います。

史跡武蔵国分寺跡周辺エリア



周辺との連携

目標 史跡や湧水など市の魅力資源をまちづくりに活かします。

緑・水辺・歴史的資源を有効活用します。

取組良-① 《緑・水辺・歴史的資源を有効活用》
○史跡や湧水など、魅力資源の積極的なPRを推進します。
○元町用水の環境維持と水辺の景観資源としての有効活用に努めます。

取組良-② 《国3・4・11号線と国分寺街道の連絡強化》
○幹線道路機能を持つ国3・4・11号線と商業機能を有する国分寺街道の沿道それぞれの道路の持つ役割が、まちの活性化に相乗効果をもたらすよう、2本の道路を東西に繋ぐ国3・4・1号線の一部を国3・4・11号線整備にあわせて整備します。



史跡武蔵国分寺跡の桜



農産物直売所



元町通り付近

地域住民のコミュニティを中心とした地域の豊かさによって創出されるにぎわい

目標 買い物を楽しむことができる商店街づくりを目指します。

取組に-⑤ (活用資源：A.農地・こくベジ)
《こくベジプロジェクトとの連携》
○農園を活用した体験プログラムや講座を地域の農家、店舗、行政、団体などで連携して実施したり、育てた野菜をそこで調理しその場で味わえるよう国分寺街道沿いに提携するシェアキッチン兼食堂を造ったりするなどの民間プロジェクトを支援します。
○国分寺街道が歩きやすい道となることから、道路空間を活かし、こくベジをはじめとした旬の食材を販売するマルシェイベントを開催し、人々のにぎわいを生みだします。

取組に-⑥ (活用資源：G.周辺大学の学生の活力)
《周辺地域の大学と連携した取組への支援》
○周辺地域の大学生と連携し、こくベジを使った地域の名産品になるような商品の開発や、地域の学生が学びの一環としてチャレンジショップに取り組みことを支援し、学生が地域へ入っていくためのきっかけづくりを進めます。

取組に-⑦ (活用資源：H.空き店舗)
《空き店舗の利活用》
○空き店舗オーナーが事業者へ貸し出したくなるよう、オーナーが手間を掛けずに安く貸し出せるマッチングの仕組み創設の検討や、リノベーションスクールの開設等を支援します。

目標 良好な地域コミュニティの形成を目指します。

取組に-⑧ (活用資源：E.住民 F.商店会や町会)
《地域の歴史や資源と関連したイベントの開催》
○国分寺街道が歩行者主体の道路となることから、道路を使った大胆なイベントの開催を支援します。道路空間を活用したイベントを開催し、まちのキーパーソンの発掘や、地域住民への買い物以外の楽しみの提供、店主と客のコミュニケーションの機会づくりを推進します。

取組に-⑨ (活用資源：E.住民 F.商店会や町会)
《エリアマネジメントの検討》
○公共空間の維持管理・活用を担いながら、行政や民間組織との調整を図るエリアマネジメント組織の導入を検討します。イベント等のまちのにぎわいの担い手をつなく組織づくりを進めます。

取組に-⑩ (活用資源：E.住民 F.商店会や町会)
《コミュニティビジネスの支援》
○身の回りの問題を、地域住民が、人材やノウハウ、施設などの地域資源を活かし、ビジネスの手法を用いて自分たちで解決するコミュニティビジネスの支援を行います。